

日 本 史 B

(解答番号 1 ~ 36)

第1問 次の文章A・Bは、外国の映画を一緒に見に行った、大学生の英俊さんと静香さんとの会話である。この文章を読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 12)

A

英 俊：今日の映画、とっても面白かったけど、日本の場面の描写にはちょっとがっかりしたなあ。もう少しリアルに描けないものかな。

静 香：観客にわかりやすくするため、型にはまった演出をしてるのよ。

英 俊：そうかもね。ただ、ちょっと偏見が混じっている気もする。この間、大学の講義で、アジア太平洋戦争(太平洋戦争)中のアメリカのポスターを見せられたんだけど、日本人を猿として描くなど、差別的で驚いたよ。

静 香：相手を見下したり蔑視したりするのは、戦争中には特に顕著になっていたんじゃない？ まあ、日本も敵国に対し「鬼畜米英」なんてスローガンを唱えていたんだから、どっちもどっちだね。

英 俊：ただ、平時でも、こうした自文化中心の意識があったことは見過ごせないと思うよ。㉔近代の欧米諸国は、自分たちを「文明国」だと自負して、日本を含むアジアを蔑視していたからね。

静 香：それと同じように、㉕「大東亜共栄圏」の盟主を自任した日本も、植民地の人々や異民族に対して、高圧的な姿勢をとりがちだったわ。

英 俊：なるほど、相手を尊重して冷静な目を向けるというのは、結構難しいことなんだね。ところで、何か別の日本観察の例はないのかな。

静 香：明治時代に約20年間日本に滞在した㉖フランス人画家のビゴーはどうか。日本人のあまり描かない題材を取り上げていて、貴重なんだって。

英 俊：ただ、彼らが珍しいと思った点が強調され過ぎると、われわれ日本人には違和感が強くなってしまうよ。外からの視点だから客観的、というのが普通の評価なのかもしれないけど、むしろこっちの方が主観的じゃない？

- 問 1 下線部②に関連して、次の史料も参考にしながら、ペリーが日本に派遣されたころの欧米諸国の動向に関して述べた下の文 **a** ～ **d** について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 1

この部分につきましては、著作権
処理中の為、現在公開できません。

- a アメリカは、日本に対して、捕鯨船や通商船の寄港地となるべき港湾を開くことを期待した。
- b アメリカは、イギリスと連合してアロー戦争を引き起こし、日本にも艦隊を派遣しようとした。
- c 欧米諸国のなかで唯一、日本との通商関係をもっていたオランダは、江戸幕府に対して開国をすすめた。
- d 欧米諸国においては、鎖国政策をとる日本が野蛮な国であるとの意見はなかった。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

日本史B

問 2 下線部⑥に関連して、日本の植民地統治や異民族支配に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 2

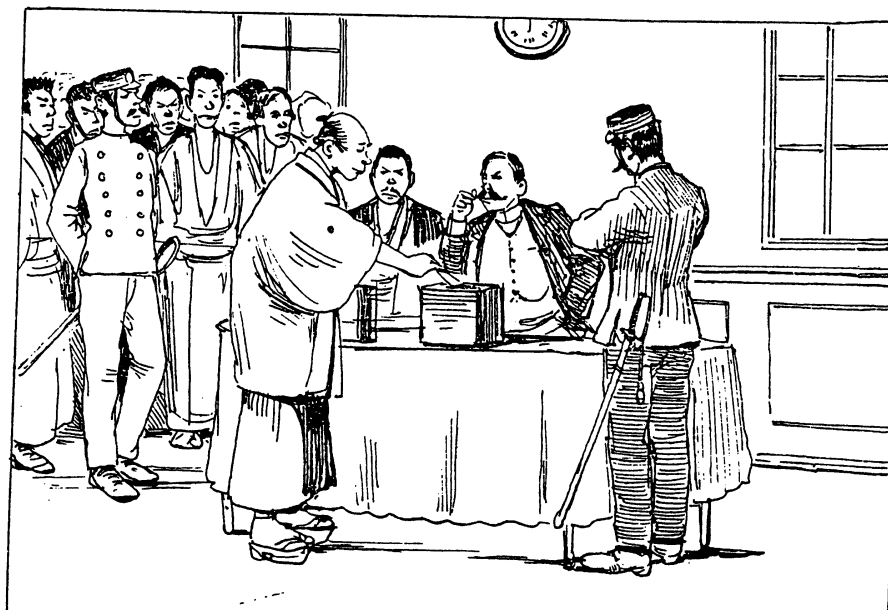
- ① 日中戦争の開始と同時に、台湾には統監府が設置された。
- ② 戦局の悪化にもかかわらず、朝鮮では徴兵制が志願兵制に変更された。
- ③ 東南アジアの占領地に軍政をしき、石油などの資源を獲得した。
- ④ 大東亜会議を開催し、中国の蒋介石政権などを参加させた。

問 3 下線部㉔に関連して、この人物が描いた次ページの絵X・Yと、それに関する事柄について述べた次の文a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 3

- a 第1回衆議院議員選挙での有権者数は、総人口の約1割を占めた。
- b 第1回衆議院議員選挙の投票所には、警官が立ち会うこともあった。
- c 日清戦争後の日本は、中国の分割競争に本格的に参入するようになった。
- d 外国の貴賓を接待するための場として、横浜に鹿鳴館が建てられた。

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — a | Y — c | ② X — a | Y — d |
| ③ X — b | Y — c | ④ X — b | Y — d |

X (1890 年の作品)



Le jour des élections

(訳文) 選挙の日……

Y (1897 年の作品)



— *Voilà Monsieur SoDesKa !! Que désirez vous Monsieur SoDesKa ???*

— *Je désire faire partie de votre Club, Dojo ô négaimasse*

(訳文)「おや、ソーデスカさんじゃないか！ 何かご用ですか？……」
「皆さんのクラブに入りたいのです。どうぞ、お願いします……」

日本史B

B

静 香：外国人が、自分たちの価値観や世界観を基準に日本社会を理解した例としては、④江戸時代にやってきた朝鮮通信使も面白い記録を残しているわ。当時の日本には「士」がいなくて、「兵農工商」の社会だと書いてある。

英 俊：「士農工商」の「士」を、朝鮮では儒教や学問に通じた官僚や知識人とイメージしていたから、⑤近世日本の武士を「士」だとは思えなかったんだね。「士農工商」という言葉も、中国の儒教的な理念に過ぎなかったし。実際、当時の日本には、さまざまな身分集団が存在していたそうだよ。

静 香：短い滞在期間では、通信使もそこまで観察しきれなかったのかな。

英 俊：ともかく、自分たちの価値観とは合わないことが記録されやすかったということは一般的に言えそうだね。

静 香：10世紀末の入宋僧ちようねん 奝然にまつわる興味深い話も残っているわ。中国では革命で王朝が替わるのに、日本では国王(天皇)も臣下もずっと世襲と聞いて皇帝がうらやましがったとか……。ただ、こういう史料は、書き手の興味関心が先行するから、客観的かどうか微妙だよな。

英 俊：うん。史料というのは、結局のところ誰かだれがある目的で書き記したものだからね。ある史料をきちんと解釈するには、その史料に込められた書き手の思いや思い込みをえぐり出す必要があるんじゃないかな。

静 香：主観的か客観的かという、さっきの問題に戻ってくるわけね。『隋書』倭国伝には、『日本書紀』には書かれていない600年の⑥遣隋使も記録されているの。『日本書紀』の編者は、何かの理由でこの遣隋使の存在を隠したんじゃないかなあ。この場合、『隋書』の方が客観的と言えるかもね。

英 俊：まあ、そう慌てずに。外国史料でも国内史料でも、それぞれの性格や内容をよく吟味して、慎重に突きあわせていかないとね。

問 4 下線部㉔に関連して、中世・近世の日朝関係に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 4

Ⅰ 朝鮮軍が、対馬を倭寇の根拠地とみなして襲撃した。

Ⅱ 朝鮮国書における將軍の呼び名が、日本国大君から日本国王へ改められた。

Ⅲ 三浦の倭人たちが、貿易制限の強化に反発して蜂起した。

① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ

② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ

③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ

④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ

⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ

⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問 5 下線部㉕に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

① 武士は、原則として試験に合格してから幕臣や藩士に登用された。

② 御家人とは、將軍と主従関係を結んだ1万石以上の武士をさす。

③ 享保の改革では、一国一城令により多くの武士が家禄を失った。

④ 諸藩は、武士の子弟の人材育成を目的にした藩学(藩校)を設けた。

問 6 下線部㉖に関連して、遣隋使・遣唐使や日中間の文化交流に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

① 「日出づる処の天子」で始まる倭国の国書を、隋の煬帝は無礼と断じた。

② 唐僧鑑真は、渡航中の遭難など辛苦の末に来日し、戒律を伝えた。

③ 隋で先進的な文化を学んだ吉備真備や玄昉は、橘逸勢に重用された。

④ 最澄は遣唐使に従って入唐し、天台の教えを学んで、帰国した。

日本史B

第2問 古代の法典編さんと社会の変化に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 18)

A 日本の律令は、唐の律令にならってつくられた。近年、中国の博物館で、失われていた唐の令を含む法典が発見され、あらためて日本の令が唐の令の影響を強くうけていたことが確認された。律令の受容は、唐の中央集権的な統治システムの導入という側面が強い。

7世紀以降、遣隋使・遣唐使の派遣や、㉐ 対外戦争での大敗を通して、倭国(日本)は中央集権体制の必要性を認識し、律令の編さんを進めた。670年には律令制支配の基礎となる **ア** がつくられ、これはのちに氏姓の根本台帳とされた。刑法にあたる律の編さんは遅れたが、㉑ 701年には、律・令ともに備わった大宝律令が成立した。

大宝律令について、養老律令が編さんされたが、この間にも、次々に令を修正したり補足したりする法令が出されている。令はおもに行政に関する法律なので、社会の変化に応じて改正されていくのは当然といえる。743年に出された **イ** は、律令の土地公有の原則からの転換であった。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **7**

- | | |
|----------|-----------|
| ① ア 庚午年籍 | イ 墾田永年私財法 |
| ② ア 庚午年籍 | イ 班田収授法 |
| ③ ア 八色の姓 | イ 墾田永年私財法 |
| ④ ア 八色の姓 | イ 班田収授法 |

問 2 下線部②に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ
 選べ。 8

- ① 百済の救援のために朝鮮半島に出兵した倭国の軍隊が、唐と高句麗との連合軍に白村江の戦いで敗れた。
- ② 白村江の戦いののち、中大兄皇子は即位し、中国の都城にならった藤原京を造営して都を移した。
- ③ 白村江の戦いののち、政府は大化改新といわれる政治改革を行って、中央集権化を推進した。
- ④ 白村江の戦いののち、政府は西日本各地に朝鮮式山城を築いて、防衛体制を固めた。

問 3 下線部⑥に関連して、正倉院に残る次ページの史料甲・乙に関して述べた次の文 a ～ d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 9

- a 甲は、6年ごとに作成される住民台帳で、これにより口分田が支給された。
- b 甲は、毎年戸主が提出する申告書によって作成され、徴税台帳とされた。
- c 乙は、郷土の産物として中央に納められた税の布である。
- d 乙は、都での労働に代えて中央に納められた税の布である。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

甲

編集部注：ここには史料写真が入りますが、未公表のため割愛します。

右京三条三坊
(注1) 戸主於伊美吉子首戸手実 (注2)
去年計帳定良賤口十五人 男六 奴四人
女四人 婢一人
今年計帳現定良賤大小口十五人 天平五年

(注1) 於伊美吉子首：人名

(注2) 手実：自己申告書

(注3) 良賤：良民と賤民。奴は男性の賤民。婢は女性の賤民。

乙

編集部注：ここには史料写真が入りますが、未公表のため割愛します。

(注4) 佐渡国雑太郡石田郷曾祢里戸丈部得麻呂調布一端 (注5)
天平十一年十一月十五日

(注4) 佐渡国雑太郡石田郷曾祢里：現在の新潟県佐渡市石田の地名。

(注5) 丈部得麻呂：人名

B 唐においては、律令を修正する格や律令の施行細則を定める式、儀礼を定める礼が、律令とともに編さんされるのが原則であった。しかし、日本では格式の編さんは遅れ、9世紀以降、いわゆる三代格式や、政務儀礼の詳細な次第を記した儀式書がつくられるなどして、㉔法制が整備されていった。

法制が整備されると、以後はそれにもとづいて規範となる事例が積み重ねられ、中央では、貴族社会の慣習が法に準じるものとして定着していく。日本の古代社会は、律令法を通して受け入れた中国の先進的な制度や文化を吸収・消化し、㉕独自の貴族文化をはぐくんでいくことになる。

一方、地方では偽籍^{ぎせき}が増えるなど律令による支配が困難になり、10世紀になると政府は国司の権限を強化し、税の納入を請け負わせる代わりに国内統治を任せるようになる。11世紀以降、㉖地方豪族らは在庁官人として地方行政に関与したり、開発領主として土地を貴族や寺院に寄進し荘園化をはかったりする動きをみせた。税制も土地制度も律令の規定とは異なる社会が生まれたのである。

問 4 下線部㉔に関連して、9・10世紀における法制と官制の整備について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 10

- ① 9世紀には新たな律令の編さんは行われなかった。
- ② 蔵人頭や検非違使など、令に規定されない職を新たに設けた。
- ③ 令(養老令)の公式注釈書である『令義解』が編さんされた。
- ④ 律令に代わる体系的な法典として、荘園整理令が制定された。

日本史B

問 5 下線部㊸に関連して、10世紀から12世紀にかけての日本の文化に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 11

- Ⅰ 浄土教が流行し、阿弥陀浄土を表現した平等院鳳凰堂が造られた。
Ⅱ 『源氏物語絵巻』や『信貴山縁起絵巻』などの絵巻物が作られた。
Ⅲ 紀貫之らにより、勅撰^{ちよくせん}の和歌集である『古今和歌集』が編まれた。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 6 下線部㊸に関連して、地方の有力豪族の屋敷を描いた次ページの絵丙・丁に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 12

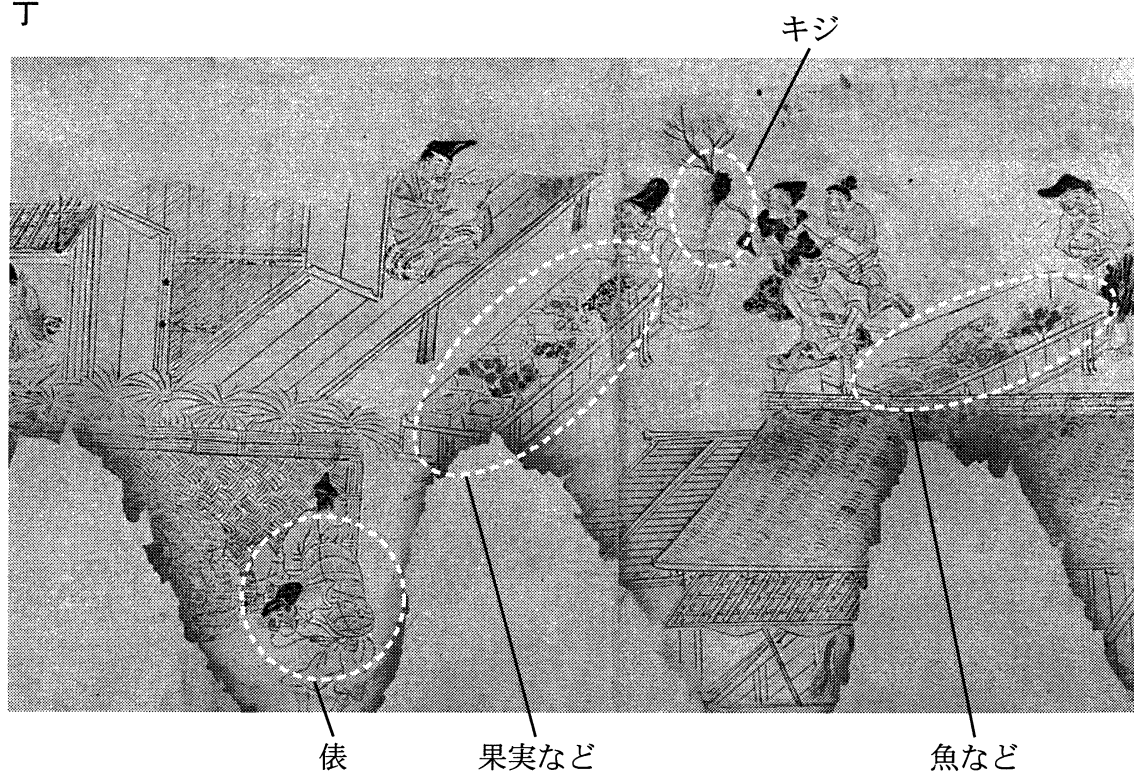
- X 丙によると、地方の有力豪族の屋敷は、堀をめぐらし、弓や檣^{やり}をもった僧兵によって警固されていた。
Y 丁によると、地方の有力豪族のもとには、穀物だけでなく、さまざまな産物が運ばれていた。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

丙



丁



(注) 丙・丁とも『粉河寺縁起絵巻』。絵巻の上下は火災により焼損している。

日本史B

第3問 中世から近世初期までの政治・外交に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 18)

A 13世紀後半、執権 ア の時代に、鎌倉幕府の支配は大きく変容する。その重要な契機となったのは二度の元軍の襲来である。

1274(文永11)年、元軍は対馬・壱岐を侵攻したのち、博多湾に押し寄せ、応戦した御家人らを苦しめたが、まもなく退いた。その理由については、悪天候によるとみる説や、元軍の目的が威嚇や偵察だったからとみる説がある。元軍の再来を警戒した幕府は、非御家人にも動員をかけたり、博多湾岸に石築地(防塁)を構築したりするなど、^a九州北部の防備体制を整備した。

その後、イ を滅ぼした元は、1281(弘安4)年、軍勢を二手にわけて日本にさし向けた。高麗の合浦^{がつぽ}を発して博多湾に進んだ東路軍は、石築地の効果と御家人らの防戦によって上陸できず、遅れて到着した江南軍と合流した。そこに暴風雨がおこり、大きな損害を受けた元軍は、再び退いた。

こうした襲来への対応を通じて、幕府の影響力は^b畿内・西国に広がっていった。

問1 空欄 ア イ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- | | | | | |
|---|---|------|---|-------|
| ① | ア | 北条時宗 | イ | 遼(契丹) |
| ② | ア | 北条時宗 | イ | 南宋 |
| ③ | ア | 北条泰時 | イ | 遼(契丹) |
| ④ | ア | 北条泰時 | イ | 南宋 |

問 2 下線部②に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ
選べ。 14

- ① 鎌倉幕府は、征西府(征西将軍)を設置した。
- ② 鎌倉幕府は、西面の武士を拡充した。
- ③ 鎌倉幕府は、異国警固番役を強化した。
- ④ 鎌倉幕府は、九州の御家人を統制する侍所を創設した。

問 3 下線部③に関連して、13世紀後半の畿内・西国に関して述べた次の文X・
Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一
つ選べ。 15

X 稲の裏作として木綿を栽培する二毛作が普及した。

Y 悪党は、幕府による取締りの強化によって消滅していった。

- | | |
|-----------|-----------|
| ① X 正 Y 正 | ② X 正 Y 誤 |
| ③ X 誤 Y 正 | ④ X 誤 Y 誤 |

日本史B

B 次の史料は、1590年8月12日に豊臣秀吉が浅野長政に検地などの実施を命じた文書の一部である。

史料

仰せ出され候趣、国人(注1)ならびに◎百姓共に合点(注2)ゆき候様に、
能々申し聞すべく候。自然(注3)、相届かざる(注4)覚悟の輩これ在るに於て
は、城主にて候はば、そのもの◎城へ追入れ、各相談じ(注5)、一人も残し
置かず、なでぎり(注6)に申しつくべく候。百姓以下に至るまで、相届かざる
については、一郷も二郷も悉くなでぎりつかまつるべく候。(中略)山の奥、
海は櫓(注7)のつづき候まで、念を入るべき事専一に候。

(注1) 国人：土着性の強い領主。

(注2) 合点：納得

(注3) 自然：もしも

(注4) 相届かざる：納得しないこと。ここでは、秀吉の命令に従わないこと。

(注5) 各相談じ：秀吉配下の武将たちが連携して。

(注6) なでぎり：すべて切り捨てること。

(注7) 櫓：櫓と櫓はともに船を漕ぎ進める道具。

問4 下線部◎に関連して、中世から近世初期の百姓に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

16

- ① 戦国大名は、百姓支配の強化につながる自検断を実施した。
- ② 一向一揆による加賀支配は、「百姓の持ちたる国のよう」といわれた。
- ③ 織田信長は、「諸国百姓」から武器を没収する刀狩令を出した。
- ④ 近世にはいると、百姓は下肥を使わなくなった。

問 5 下線部㊸に関連して、列島各地の城や館^{たて}に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 17

- Ⅰ ザビエルが、大内氏の城下町山口で布教を認められた。
 Ⅱ 沖縄本島で、グスクを築くような按司とよばれる有力者が現れた。
 Ⅲ コシャマインの蜂起^{ほうき}により、蝦夷地南部の館が陥落した。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
 ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 6 前ページの史料から読み取れる秀吉の検地実施の方針に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

18

- a 検地の実施にあたり、百姓を説得する。
 b 城主であれば、検地に反対しても許す。
 c 検地に反対する百姓は、すべて処刑する。
 d 山奥や海辺の田畑は、対象外とする。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

日本史B

第4問 近世の政治・社会・経済に関する次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～6)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)
(配点 17)

A 近世には、幕府により五街道が整備され、関所などの施設も置かれた。参勤交代の制度化や諸産業の発展による荷物輸送の増大は、交通の発達を促し、町人や百姓の生活にも変化を与えた。

男性も②女性も寺社参詣^{さんけい}や湯治などの旅を行った。庶民は、主要街道では、宿場(宿駅)に置かれた一般の旅人の宿泊施設である **ア** を利用した。数十年を周期として大挙して伊勢参宮を行う **イ** も、旅の一種であった。旅の隆盛によって、旅行案内書や特産物の紹介書などとともに、⑥旅や各地の暮らしに関連したさまざまな文芸作品が生み出された。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **19**

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ① ア 旅籠(旅籠屋) | イ 庚申講(庚申待) |
| ② ア 旅籠(旅籠屋) | イ お蔭参り(御蔭参り) |
| ③ ア 問屋場 | イ 庚申講(庚申待) |
| ④ ア 問屋場 | イ お蔭参り(御蔭参り) |

問 2 下線部②に関連して、近世の女性に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

20

X 大名の正妻は、夫の参勤交代に従って、国元と江戸を往復していた。

Y 庶民の女性の教育機関として、貝原益軒が女大学を開設した。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 3 下線部⑥に関して述べた次の文X・Yと、その作者名a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

21

X 『東海道中膝栗毛』は、庶民の旅を題材にした話である。

Y 『北越雪譜』には、雪国の生活や自然が描かれている。

a 十返舎一九

b 鶴屋南北

c 鈴木牧之

d 一茶(小林一茶)

① X — a Y — c

② X — a Y — d

③ X — b Y — c

④ X — b Y — d

日本史B

B ㉔ 近世の百姓は、主として米で年貢を納めた。領主は、年貢米を売却して必要物資の購入にあてており、米価をはじめとする諸物価の変動は、人々の生活に大きな影響を与えた。このため、㉕ 幕府は、物価調整などの経済政策を展開した。

年貢や諸役を負担する百姓は、安定した生活が成り立つような善政を期待した。したがって、暮らしや生産が大きく損なわれたときなどに、百姓は領主に強く異議を申し立てた。その代表例が百姓一揆である。

幕府は、こうした動きを不穏とみなし、㉖ 1770年に全国に法令を出し、高札として掲示させたりした。そこでは、百姓が大勢で「よろしからざる」ことを申し合わせることを「徒党」と定義した上で、「徒党して、強いて願ひ事企つるを強訴といい、あるいは申し合わせ、村方立ち退き候を逃散と申し、前々より御法度(注1)に候条、右類^{たぐい}の儀これあらば、居村^{いむら}(注2)・他村に限らず、早々その筋の役所へ申し出るべし」(『御触書天明集成』)と命じている。

(注1) 御法度：禁じられていること。

(注2) 居村：住んでいる村。

問4 下線部㉔に関連して、近世の百姓の負担について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 22

- ① 年貢率の決定法の一つに、その年の収穫に応じて決める定免法があった。
- ② 大河川の改修などについて、一国単位で賦課される国役があった。
- ③ 山林・原野・川・海の利用には、豆板銀という税目が設定された。
- ④ 宿場(宿駅)に近い村には、人馬を出す本途物成という税目が設定された。

問 5 下線部㉔に関連して、幕府の経済政策に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 23

- Ⅰ 銅・鉄・真^{しんちゆう}鋸^{にんじん}・朝鮮人参などの座を設けた。
 Ⅱ 大坂堂島の米市場を公認した。
 Ⅲ 株仲間の解散を命じ、商人らの自由売買を認めた。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
 ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問 6 下線部㉕に関して述べた次の文 a ～ d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 24

- a 幕府は、百姓が集団で村から立ち退くことを強訴とよび、禁止した。
 b 幕府は、強訴や逃散があれば、すぐに役所へ届けさせた。
 c この法令によって、これ以降、百姓一揆の発生は皆無となった。
 d この法令にもかかわらず、これ以降も、百姓一揆は多発した。

- ① a ・ c ② a ・ d ③ b ・ c ④ b ・ d

日本史B

第5問 近代のジャーナリスト・風俗研究家として活躍した宮武外骨^{みやたけがいこつ}に関する次の文章を読み、下の問い(問1～4)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)(配点 12)

1867年、讃岐国阿野郡^{あや}小野村(現在の香川県綾川町)に生まれた宮武亀四郎(外骨)は、少年時に、㉔自由民権運動の影響下で活発に刊行されていた新聞や雑誌に親しみ、ジャーナリストを志した。上京後の1887年に『頓智^{とんち}協会雑誌』を創刊するが、1889年2月、同誌の記事がもとで不敬罪に問われ、3年間を獄中で送った。
[ア]が[イ]に憲法を手渡した式典の情景(図)を模して、壇上^{がいのこつ}に骸骨を立たせた図画の掲載が問題視されたのである。しかし出獄後も、数々の新聞・雑誌を創刊し、過激かつユーモアのある言論で㉕政治家や資本家を風刺して人気を集めた。生涯でうけた罰金刑は15回、発行停止や発売禁止処分は14回に及ぶという。

出版・言論活動のかたわら、普通選挙実現の要求をにかけて衆議院議員選挙に2回立候補した。どちらも落選したが、普通選挙運動をとおして、民本主義を主唱した[ウ]と知り合った。両者は、㉖明治期の文化や風俗の研究を通じて交流を深めた。外骨は晩年には研究資料の収集・保存に没頭し、1955年に88歳で生涯を閉じた。

図



問 1 空欄 **ア** ～ **ウ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **25**

- | | | |
|-------------------|-----------------|----------------|
| ① ア 天 皇 | イ 内閣総理大臣 | ウ 美濃部達吉 |
| ② ア 天 皇 | イ 内閣総理大臣 | ウ 吉野作造 |
| ③ ア 内閣総理大臣 | イ 天 皇 | ウ 美濃部達吉 |
| ④ ア 内閣総理大臣 | イ 天 皇 | ウ 吉野作造 |

問 2 下線部②に関連して、明治期のジャーナリズムに関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **26**

- ① 大阪で、日本最初の日刊新聞である『大阪朝日新聞』が創刊された。
- ② 高山樗牛は雑誌『日本人』を刊行して、日本主義を唱えた。
- ③ 福沢諭吉は『時事新報』に「脱亜論」を発表して、三国干渉を批判した。
- ④ 政府は新聞紙条例によって、反政府的な言論活動を取り締まった。

日本史B

問 3 下線部㊸に関連して、明治期の政治や経済に関して述べた次の文 a ～ d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 27

- a 青木周蔵外相はイギリスと条約改正交渉をすすめたが、大津事件で辞任に追い込まれた。
- b 初の政党内閣である第1次大隈重信内閣は、自由党の分裂により退陣した。
- c 日清戦争後、綿糸の輸出量が輸入量を上回るようになった。
- d 日露戦争後、官営の鉄道が、次々と民間へ払い下げられていった。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 4 下線部㊹に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 28

- X 政府が太陽暦を導入した後も、日常生活では旧暦も用いられていた。
Y 川上音二郎が、オッペケペー(オッペケペ)節で人気を集めた。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

日本史B

第6問 近現代の食糧・食生活に関する次の文章A～Cを読み、下の問い(問1～8)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)
(配点 23)

A 第一次世界大戦の勃発^{はつぱつ}は、日本経済に好景気をもたらした。工業化が進展し、都市人口が急増したことで米の需要が激増したにもかかわらず、供給が追いつかず米価は上昇した。

1918年、④米価の高騰により米騒動が起こると、食糧や食生活に関する問題に注目が集まった。安価で栄養のある食品を摂取する方法が、新聞や雑誌に掲載され、都市中間層を中心に広まっていった。こうした社会情勢のもと、政府は、1920年に栄養研究所を設立し、栄養学・食品学の研究を推進した。

1920年代、都市中間層の形成と栄養学の発展を背景にして、栄養と健康の関係が認識されはじめ、⑤都市を中心にして、新しい生活文化が展開したのである。

問1 下線部④に関連して、米騒動およびその前後の状況に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 29

- ① 商人らは、台湾出兵にともなう米の需要の増大を見込んで、米の買い占めや売り惜しみを行った。
- ② 米騒動は、農村や漁村を中心に起こり、都市には広がらなかった。
- ③ 米騒動は、米の安売りなどを求めて起こったが、警察や軍隊によって鎮圧された。
- ④ 第2次大隈重信内閣は、米騒動の収束後まもなく、責任をとり総辞職した。

問 2 下線部⑥に関連して、1920～30年代の生活文化に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

30

- a スーパーマーケットが、都心のターミナル駅周辺に建てられた。
- b 洋室も備えた和洋折衷の文化住宅が、大都市の郊外に建てられた。
- c サラリーマン(俸給生活者)が、都市に多数みられるようになった。
- d 天皇の誕生日が紀元節と称されて、国民の祝日に定められた。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

日本史B

B 次の史料は、1940年、国民精神総動員運動関係者とデパートの食堂担当者が、節米(注1)はなぜ必要かについて対談している記事である。

この部分につきましては、著作権
処理中の為、現在公開できません。

問3 下線部◎に関連して、国民精神総動員運動に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

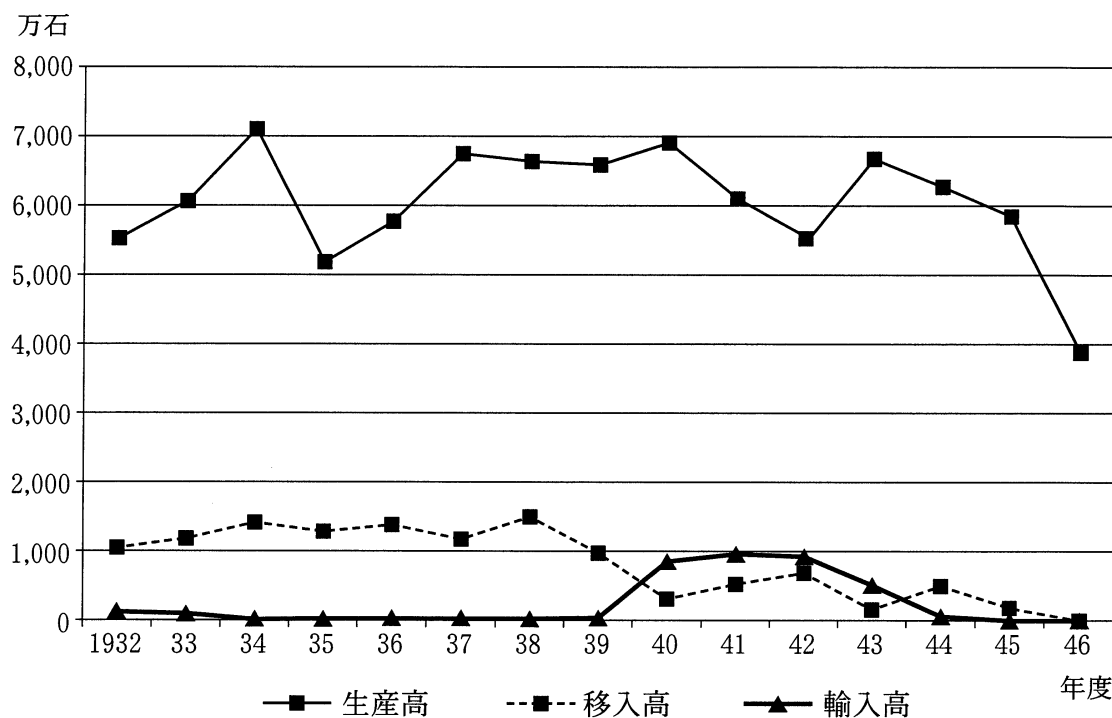
31

- a この運動は、近衛文麿内閣によって開始された。
- b この運動は、東条英機内閣によって開始された。
- c 国民は、節約や貯蓄を奨励された。
- d 国民は、積極的な消費を奨励された。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 4 下線部④に関連して、米穀供給の推移に関する次のグラフの説明として誤っているものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 32

米穀供給の推移



(原朗編『日本の戦時経済』，食糧管理局編『食糧管理統計年報 昭和23年度版』により作成)

(注) 年度は、前年の11月からその年の10月までの米穀年度を指す。

(注) 生産高は、日本本土で生産された量。

(注) 移入高は、植民地で生産され、日本本土にむけて販売された量。

- ① 日中戦争の開戦前に、移入高は1000万石を上回っていた。
- ② 対米英開戦前に、輸入高が移入高を上回った。
- ③ 対米英開戦から敗戦までの間、輸入高が移入高を一貫して上回っていた。
- ④ 敗戦の翌年度の生産高は、前年度の約3分の2まで大きく減少した。

日本史B

問 5 下線部㊸に関連して、1940 年代前半の国民生活に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

33

X 政府は、米穀の配給制を導入した。

Y 政府は、女性の工場での労働を禁止した。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

日本史B

C 敗戦後、とくに都市部では、食糧難は深刻であった。政府に食糧事情の改善を要求する集会が各地で開催され、1946年5月の食糧メーデーには、25万人が参加したといわれている。

日本経済は、アにともなうアメリカ軍による特需を得て、息を吹き返した。[㊦]1950年代初めには、工業生産額は戦前の水準に回復する。農村でも、工業の復興のもと、化学肥料・農薬・農業機械が普及して、農業生産力が増大した。米の生産量は1955年に1000万トンを超え、食糧不足は解消された。

吉田茂内閣は、1954年にアメリカとイを締結し、兵器や農産物の援助を受けるかわりに、防衛力増強を義務づけられ、自衛隊を発足させた。アメリカから小麦をはじめとする余剰農産物を受け入れた政府は、その後、パン食の普及を推進した。1960年代には、米の生産量が増大する一方で、食生活が多様化したため米の消費は減退した。[㊧]このように、農業や人々の食生活は、政治や外交から大きな影響をうけて変化してきたのである。

問 6 空欄 ア イ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 34

- | | |
|-----------|----------|
| ① ア 朝鮮戦争 | イ MSA 協定 |
| ② ア 朝鮮戦争 | イ 日米行政協定 |
| ③ ア イラク戦争 | イ MSA 協定 |
| ④ ア イラク戦争 | イ 日米行政協定 |

問 7 下線部㊦の時期の政治・教育に関して述べた次の文 a ～ d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 35

- a 吉田茂内閣は、メーデー事件(血のメーデー事件)をきっかけに、破壊活動防止法を制定した。
- b 岸信介内閣は、警察官の権限を拡大するために、警察官職務執行法を改正した。
- c 石橋湛山内閣は、男女共学などを規定した教育基本法を制定した。
- d 鳩山一郎内閣は、教育委員を公選制から首長による任命制に改めた。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 8 下線部㊧に関連して、近現代日本の農業政策に関して述べた次の文 I ～ III について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 36

- I 自作農の創設を目的として、農地改革が行われた。
- II 農業経営の自立をめざして、農業基本法が制定された。
- III 食糧の国家管理をはかるため、食糧管理法が制定された。

- ① I — II — III ② I — III — II ③ II — I — III
④ II — III — I ⑤ III — I — II ⑥ III — II — I